

My Fair Lady(マイフェアレイディ)という映画をご存じでしょうか。乱暴な言葉を使う田舎者の少女を、言語学者が「使う言葉を変える」ことを通して立派なレディに成長させるというストーリーです。古い映画ですが、英語に興味がある方はぜひ観ていただきたいです。

「どんな言葉を使うか」はその人物の内面を大いに語るものです。できることならば、品のある言葉、思いやりにあふれた言葉をつかえるようになりたいものですね。言葉は人と人とを結ぶ大切な道具です。

私たちは、普段耳にする言葉を使ってしまう傾向にあります。最近の子どもたちは、ネット動画に触れる機会がたくさんあります。一部の動画の中には、子どもたちに使ってほしくない言葉があふれているものもあります。しかし、そんな言葉ほど子どもたちは面白半分に使ってしまう。「人を傷つける言葉を発する」「侮辱するジェスチャーをする」子どもたちを見るととても悲しい気持ちになります。折に触れて、言葉の大切さを授業で語っていきたいです。

言葉は争いの種にもなりますが、争いの解決にも使えます。人と人とのより良い関係を築くためにこそ存在していると信じています。子どもたちには適切な言葉の使い手になってほしいと願っています。言葉の教育に関わるものとしての心からの願いです。

## 上手に活用しよう！



現在、5・6年生が使用している教科書やピクチャーディクショナリーには、QRコードがたくさんついています。単語の発音を確認したり、授業で楽しんでいる歌やチャンツを聴いたりできます。タブレットは、語学学習に強力な味方です。積極的に活用してほしいです。



## 今月の言葉

The early bird catches the worm.  
(早起きは三文の徳)

★温かい季節になってきました。早起きもつらくない時期になりましたね。早く起きて、やりたいことをどんどんやりましょう～！早寝早起き大切です！

